

平成28年度安芸地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

平成28年度 安芸地域アクションプラン（案）項目対比表

| No. | 現在(平成27年度) | 室戸市 | 安芸市 | 東洋町 | 奈半利町 | 田野町 | 安田町 | 北川村 | 馬路村 | 芸西村 | |
|-----|-----------------------------------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 10 | 8 | 7 | 7 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | |
| 1 | ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | ● | ①削除 |
| 2 | ユズを中心とした中山間振興 | ● | ● | | | | ● | ● | ● | | |
| 3 | ポンカンを活用した新商品の開発と販路の拡大 | | | ● | | | | | | | |
| 4 | 「安田(あんだ)の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発 | | | | | | ● | | | | |
| 5 | 白下糖の生産の拡大と観光への活用 | | | | | | | | | ● | |
| 6 | 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 | ● | | ● | | | | | | | |
| 7 | 木質バイオマス活用の促進 | | ● | | | | | | | ● | ②削除 |
| 8 | 林業加工品の販売の促進 | | | | | | | ● | | | |
| 9 | 芸東地域の水産物の付加価値の向上と販路の拡大 | ● | | ● | ● | ● | ● | | | | |
| 10 | 加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上 | | ● | | | | | | | | |
| 11 | 海洋深層水の利用拡大 | ● | | | | | | | | | |
| 12 | 安芸市の地域食材を活用した商品づくりの推進 | | ● | | | | | | | | |
| 13 | 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 | | | | ● | | | | | | |
| 14 | 地域資源を活用した新商品の開発と販路の拡大 | | | | | ● | | | | | |
| 15 | 完全天日塩の生産の拡大と観光への活用 | | | | | ● | | | | | |
| 16 | キラメッセ室戸「楽市」の機能強化 | ● | | | | | | | | | |
| 17 | 海の駅を拠点とした地域振興 | | | ● | | | | | | | |
| 18 | 道の駅「田野駅屋」の機能強化(特産品開発及び情報発信)と施設整備等 | | | | | ● | | | | | |
| 19 | 地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化 | | | | | | | | | ● | |
| 20 | 安芸地域の観光振興の推進～東部地域博覧会の開催～ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| 21 | 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興 | ● | | | | | | | | | |
| 22 | 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大 | ● | | | | | | | | | |
| 23 | 岩崎弥太郎生家を核とした観光振興 | | ● | | | | | | | | |
| 24 | 東洋町における体験観光の推進 | | | ● | | | | | | | |
| 25 | 藤村製糸を活用した観光振興 | | | | ● | | | | | | |
| 26 | 中芸地区における広域観光の推進 | | | | ● | ● | ● | ● | ● | | |
| 27 | 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大 | | | | ● | ● | ● | ● | ● | | |
| 28 | 体験型観光と地域の加工品づくりの推進 ～大野台地は、えいところ！～ | | | | | ● | | | | | |
| 29 | 世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大 | | | | | | | ● | | | |
| 30 | 旧椎名小学校を活用した地域振興 | ● | | | | | | | | | |
| 31 | 集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり | | ● | | | | | | | | |
| 32 | 安田中山地区の活性化プロジェクト | | | | | | ● | | | | |
| 33 | 北川村温泉を核とした中山間振興 | | | | | | | ● | | | |
| 34 | 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト | | | | | | | | ● | | 分割 |

【安芸地域】

| | | | | | | | | No. | 改定案(平成28年度) |
|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| 室戸市 | 安芸市 | 東洋町 | 奈半利町 | 田野町 | 安田町 | 北川村 | 馬路村 | 芸西村 | |
| 9 | 5 | 7 | 7 | 6 | 6 | 5 | 5 | 4 | |
| ● | ● | | ● | ● | ● | ● | ● | | 1 ユズを中心とした中山間振興 |
| | | ● | | | | | | | 2 ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興 |
| | | | | | ● | | | | 3 やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進 |
| | | | | | | | | ● | 4 白下糖の生産拡大と新商品の開発 |
| ● | | ● | | | | | | | 5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 |
| | | | | | | | ● | | 6 林業加工品の販売の促進 |
| ● | | ● | ● | ● | ● | | | | 7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 |
| | ● | | | | | | | | 8 安芸市のシラス漁業者所得の向上 |
| ● | | | | | | | | | 9 海洋深層水による地域産業の推進 |
| ● | | | | | | | | | 10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大 |
| | | ● | | | | | | | 11 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 |
| | | ● | | | | | | | 12 有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓 |
| | | | ● | | | | | | 13 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 |
| | | | | ● | | | | | 14 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用 |
| | | | | ● | | | | | 15 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組 |
| | | | | | | | ● | | 16 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化 |
| ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 17 安芸地域の観光振興の推進 |
| | | | ● | ● | ● | ● | ● | | 18 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大 |
| ● | | | | | | | | | 19 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興 |
| ● | | | | | | | | | 20 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大 |
| | ● | | | | | | | | 21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進 |
| | | ● | | | | | | | 22 東洋町における体験観光の推進 |
| | | | ● | | | | | | 23 藤村製絲を活用した観光振興 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | ● | | 24 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大 |
| ● | | | | | | | | | 25 旧椎名小学校を活用した地域振興 |
| | ● | | | | | | | | 26 集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり |
| | | | ● | | | | | | 27 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 |
| | | | | | ● | | | | 28 安田中山地区の活性化プロジェクト |
| | | | | | | ● | | | 29 北川村中部地区の活性化プロジェクト |
| | | | | | | | ● | | 30 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト |
| | | | | | | | | ● | 31 集落活動センター「げいせい」(仮称)を拠点とした「小さくてももっと元気で輝くむら」づくり |

①追加

①統合

②統合

③統合

④統合

②追加

③追加

安芸地域アクションプランの追加・削除・統合等（予定項目）

■追加

| NO. | アクションプラン名 | 事業概要 |
|-----|---|--|
| 1 | 有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓 (東洋町) 【事業主体】(株)熊谷ファーム | 有害鳥獣であるイノシシやシカなどを活用して、食肉加工のほか町内で未利用となっている魚や野菜と組み合わせたペットフードを生産・販売するための加工施設を整備し、生産・販売体制を確立することにより、ジビエ振興による地域の活性化を図る。 |
| 2 | 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 (奈半利町) 【事業主体】奈半利町、集落活動センター運営主体 | 集落活動センターを拠点として、奈半利町内の生産物の増産及び新たな加工品の企画・開発を促進するとともに、ふるさと納税の取組や情報発信の強化による奈半利ブランドの確立を図ることで、外商や交流人口を拡大し、地域のにぎわいを生み出す。 |
| 3 | 集落活動センター「げいせい」(仮称)を拠点とした”小さくてももっと元気で輝くむら”づくり(芸西村) 【事業主体】芸西村、集落活動センター運営主体 | 村内で活躍する住民が集落活動センターを中心に集結し、村産品の加工品づくりや磨き上げ、観光資源の発掘や活用等に取り組むことにより、村の強みを活かし、地域活性化を図る。 |

■削除

| NO. | アクションプラン名 | 削除する理由 |
|-----|---|--|
| 1 | No.1 ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進(室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、芸西村) 【事業主体】JA土佐あき | 園芸連において、土佐鷹ブランドとしての販売を行わないことが決定されたことから、今後は高知ナスの振興の取組として産業成長戦略の位置付けのもとに全県的な支援を継続していく。 |
| 2 | No.7 木質バイオマス活用の促進(安芸市、芸西村) 【事業主体】JA土佐あき、(有)安岡重機、高知バイオマスファーム、高知東部森林組合 | 木質ペレットボイラーの設置台数は、アクションプランの目標値を達成し、資源利用量も目標を概ね達成した。また、国の補助制度の見直しで、昨年度から木質ペレットボイラーの新規導入はなく、今後の導入も見込まれない。これらを踏まえ、現時点では地域独自の取り組みを進める状況になく、今後は産業成長戦略の位置付けのもとに全県的な支援を継続していく。 |

■その他（統合・分割）

| NO. | アクションプラン名 | 見直しする理由 |
|-----|--|--|
| 1 | <p>No. 14 地域資源を活用した新商品の開発と販路の拡大（田野町） 【事業主体】 四国部品（株）中芸事業所、（有）松崎冷菓工業、民間企業</p> <p>No. 18 道の駅「田野駅屋」の機能強化（特産品開発及び情報発信）と施設整備等（田野町） 【事業主体】 田野町、道の駅指定管理者、加工施設指定管理者、生産者組織</p> <p>No. 28 体験観光と地域の加工品づくりの推進～大野台地は、えいところ！～（田野町） 【事業主体】 大野倶楽部、田野町</p> | <p>【統合】田野駅屋を核とした田野町の地域振興策として、田野駅屋を抜本的に強化していくため、地域資源を活用した新商品の開発・販売の取組や町内の観光素材と連携した交流人口の拡大の取組と一体的に推進していくこととして統合し、プラン名を「道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組」に変更する。</p> |
| 2 | <p>No. 20 安芸地域の観光振興の推進 ～東部地域博覧会の開催～（安芸地域全域） 【事業主体】 安芸広域市町村圏事務組合、市町村、観光協会等、地域団体、民間事業者、高知県東部地域博覧会推進協議会</p> <p>No. 26 中芸地区における広域観光の推進（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村） 【事業主体】 中芸広域連合、中芸観光協議会、中芸商工会、観光関連事業者等</p> | <p>【統合】東部地域博覧会での成果をさらに拡大させるための広域観光組織を立ち上げに伴い、中芸地域の誘客の推進に取り組んできた中芸観光協議会の取組を安芸地域全域での取組として一体的に推進していくため統合し、プラン名を「安芸地域の観光振興の推進」に変更する。</p> |

| | | |
|---|--|---|
| 3 | <p>No.12 安芸市の地域食材を活用した商品づくりの推進（安芸市）</p> <p>【事業主体】安芸市、生産団体・グループ、民間事業者・加工業者、安芸市観光協会、「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会、安芸「釜あげちりめん丼」楽会、安芸市商工会議所女性会、JA土佐あき婦人部、入河内大根のこそう会</p> <p>No.23 岩崎弥太郎生家を核とした観光振興（安芸市）</p> <p>【事業主体】安芸市、安芸市観光協会、「はばたけ弥太郎」安芸市推進委員会、安芸市観光ボランティアガイドの会、民間事業者</p> | <p>【統合】更なる交流人口の拡大を目指し、岩崎弥太郎生家を中心とした既存の観光資源の磨き上げや、飲食店での地域食材を活用したメニュー提供により、観光客の満足度の向上等を図る取組を一体的に推進するため統合し、プラン名を「岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進」に変更する。</p> |
| 4 | <p>No.29 世界に2つの「モネの庭」誘客強化による交流人口の拡大（北川村）</p> <p>【事業主体】北川村、(株)きたがわジャルダン</p> <p>No.33 北川村温泉を核とした中山間振興（北川村）</p> <p>【事業主体】北川村、北川村中部地区集落活動協議会、北川村観光協会</p> | <p>【統合】平成29年から開催予定の歴史を中心とした博覧会においてサテライト会場となる中岡慎太郎館を中心に、北川村「モネの庭」マルモッタ及び北川村温泉の3施設の観光クラスター化を目指し、一体的に取り組んでいく必要があるため、中岡慎太郎関連施設の集客拡大の取組を追加するとともに、No.33「北川村温泉を核とした中山間振興」から北川村温泉の観光施設としての取組を分割して統合し、プラン名を「北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大」に変更する。</p> |
| 5 | <p>No.33 北川村温泉を核とした中山間振興（北川村）</p> <p>【事業主体】北川村、北川村中部地区集落活動協議会、北川村観光協会</p> | <p>【分割】上記4の理由により北川村温泉の観光施設としての取組は北川村の観光クラスター化の取組の中で行っていくこととするため分割し、地域の交流人口の拡大による中山間振興の取組について、プラン名を「北川村中部地区の活性化プロジェクト」に変更する。</p> |

有望素材シート（28年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

| | | | |
|------|-----|------|-------------|
| 市町村名 | 東洋町 | 素材名 | シカ、イノシシ、ジビエ |
| | | 関連素材 | 海の駅 |

| | |
|--------|--|
| 現状・課題 | <p><現状> 近年、野生鳥獣による農作物被害は深刻化しており、全体の7割がシカ、イノシシ、サルによるものであり、特に、シカ、イノシシの被害の増加が顕著である。鳥獣被害が深刻化している要因としては、鳥獣の生息域の拡大、狩猟による捕獲圧の低下、耕作放棄地の増加等が考えられる。 平成25年度の東洋町における野生鳥獣の捕獲頭数（有害駆除）はシカが215頭、イノシシが106頭。狩猟期におけるシカの捕獲頭数は300頭で、捕獲したシカやイノシシは猟師が山で解体し廃棄（山に埋設）、もしくは自家消費され、食用として流通しているものはわずかである。</p> <p><課題> 全国的にも捕獲されたシカやイノシシの有効利用が多方面から検討されている中、東洋町で捕獲した野生鳥獣を地域資源として有効活用する取り組みの検討がおこなわれ、昨年8月には、東洋町役場の補助金を活用してイノシシ等の野生鳥獣解体処理施設を整備し、食肉販売がスタートした。しかしながら、1個体につき食肉として利用できる割合は、最大でイノシシの場合、体重の1/2、シカの場合、体重の1/3しかなく、食肉とならない部分（食用に適さない肉、骨、内臓等）の有効活用が、大きな課題となっている。</p> |
| 今後の方向性 | <p>東洋町内に、食肉とならない部分（食用に適さない肉、骨、内臓等）の有効活用を図るための加工施設を整備することにより、町内猟師の有害鳥獣捕獲の意欲向上と捕獲の推進を図るとともに、野生鳥獣肉を地域資源として、町内の飲食店によるジビエ料理の提供や、土産物として商品開発するなど、地域がひとつとなったジビエ振興による地域の活性化を図る。</p> |

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

| | | |
|----|--------|--------------------|
| 項目 | 取り組み名 | 有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓 |
| | 関係市町村名 | 東洋町 |

| | |
|-------|---|
| 事業の概要 | <p>有害鳥獣であるイノシシやシカなどを活用して、食肉加工のほか町内で未利用となっている魚や野菜と組み合わせたペットフードを生産・販売するための加工施設を整備し、生産・販売体制を確立することにより、ジビエ振興による地域の活性化を図る。</p> |
|-------|---|

| | |
|-------|---|
| 事業主体等 | <p>【事業主体】(株)熊谷ファーム 【関係機関】(株)マルキョウ</p> |
|-------|---|

| 取組手順 | 事業実施【H28】 | 1年後【H29】 | 2年後【H30】 | 3年後【H31】 | 4年後【H32以降】 |
|------------|--------------------|--------------------|----------|-------------|------------|
| | ◆加工施設の整備 | 加工施設の整備 施設整備の検討 | 施設整備 | 加工体制の強化 | |
| ◆商品開発と販路拡大 | 原料確保の強化 | | | | |
| | 商品開発と販路拡大 新商品開発 | 販促ツールの作成 | | 商品のブラッシュアップ | |
| | | 販路開拓とブランド化に向けた取組 | | | |

| 項目 | 事業実施【H28】 | 1年後【H29】 | 2年後【H30】 | 3年後【H31】 | 4年後【H32以降】 |
|--------|---|----------|----------|----------|------------|
| 売上額 | | | | 20,000千円 | |
| 【設定根拠】 | 【推計の考え方】 | | | | |
| 指標・目標 | <p>・中小企業地域資源活動促進法に基づき、(株)熊谷ファームが平成27年度に国（経済産業局）の認定を受けた地域産業資源活用事業計画（事業名「猪肉を活用したペット用加工食品の開発・製造・販売」）における売上目標 事業開始から3年目（H30）4,720千円 4年目（H31）8,500千円 ・食肉販売については、1ヶ月あたり1,000千円程度を目標とするとの申し出があった。1,000千円×12ヶ月＝12,000千円 ・合算しておよそ20,000千円の推計</p> | | | | |

| | |
|-------|---|
| 総事業費等 | <p>総事業費 千円 (うち28年度 千円)</p> <p>(内訳 国: 県: 市町村: その他:)</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）</p> <p>国: 県: 産業振興推進総合支援事業費補助金 人的支援: その他:</p> |
| 備考 | |

有望素材シート（28年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

| | | | |
|------|------|------|-----------------------------------|
| 市町村名 | 奈半利町 | 素材名 | 水産加工（キンメダイ、サバ等）、農産加工（奈半利味噌、イチジク等） |
| | | 関連素材 | ふるさと納税、集落活動センター |

| | |
|--------|---|
| 現状・課題 | <p><現状> 奈半利町は平成25年度よりふるさと納税に力を入れ始め、平成27年度の納税額は12億円を突破する見込みである。急増した納税者への返礼品の開発を強化するため、平成28年度より加領郷地区では水産加工施設兼販売所、奈半利駅構内では農水産加工施設兼販売所が稼働を始める予定であり、施設の完成後にはより一層の商品力の強化及び販路の拡大が求められることとなる。</p> <p><課題> なんでも加工市グループ、加領郷魚舎、奈半利のおかって等、それぞれのグループが商品開発や外商に取組んでおり、奈半利ブランドとして総合的に売り出す力が弱い。 ふるさと納税での波及効果（認知度の向上、特産品の売上額の増加）を上手く活かせる仕組みがない。</p> |
| 今後の方向性 | <p>奈半利町内の魅力ある資源をとりまとめる拠点施設を整備し、総合力で奈半利町を売る仕組みをつくる。 ふるさと納税への取組みを主軸に、町内で「稼ぐ・支える・にぎわう・叶える」のサービスを循環させる集活センターを立ち上げる。</p> |

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

| | | |
|----|--------|------------------|
| 項目 | 取り組み名 | 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 |
| | 関係市町村名 | 奈半利町 |

| | |
|-------|--|
| 事業の概要 | <p>集落活動センターを拠点として、奈半利町内の生産物の増産及び新たな加工品の企画・開発を促進するとともに、ふるさと納税の取組や情報発信の強化による奈半利ブランドの確立を図ることで、外商や交流人口を拡大し、地域のにぎわいを生み出す。</p> |
|-------|--|

| | |
|-------|---|
| 事業主体等 | <p>【事業主体】奈半利町、集落活動センター運営主体 【関係機関】</p> |
|-------|---|

| 取組手順 | 事業実施【H28】 | 1年後【H29】 | 2年後【H30】 | 3年後【H31】 | 4年後【H32以降】 |
|----------------------|--|-------------|----------|----------|------------|
| ◆拠点整備（集落活動センターの設置） | 仕組みづくり・活動の検討 | 活動の展開と見直し改善 | | | |
| ◆地産地消・外商推進部門 | ふるさと納税返礼品手配事業の受託 | | | | |
| ◆ふるさと納税制度を活用した地産外商強化 | 奈半利ブランドの確立のための商品開発、外商機能の強化及び町産品のPR等 | | | | |
| ◆観光・移住部門 | 奈半利町観光協会の役割 | | | | |
| ◆情報の発信・交流人口の拡大 | 移住の促進（相談窓口の設置、空き家バンク、モニターハウスの管理） | | | | |
| ◆社会福祉部門 | 住民サロンの運営、高齢者のいきがいづくり活動等、社会福祉部門との連携策の検討 | | | | |
| ◆一次産業部門 | 農業複合拠点に向けた協議会の場での検討 | | | | |
| ◆一次産業の振興 | 農機具の貸出・作業受委託等、検討を踏まえた取組 | | | | |

| 項目 | 事業実施【H28】 | 1年後【H29】 | 2年後【H30】 | 3年後【H31】 | 4年後【H32以降】 |
|--------|---------------------------------------|----------|----------|----------|------------|
| 【設定根拠】 | 【推計の考え方】 | | | | |
| | センターが立ち上がって事業が一定確定すれば、その時点で数値目標を設定する。 | | | | |
| | 【考え方】 | | | | |

| | | | |
|-----------------------------|--------------------------------|-------------|--------|
| 総事業費 | 60,000 千円 | (うち28年度 千円) | |
| (内訳 国: | 県:30,000 | 市町村:30,000 | その他:) |
| 想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他) | 国: 県:高知県集落活動センター推進事業費補助金 人的支援: | | |
| | その他: | | |
| 備考 | | | |

有望素材シート（28年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

| | | | |
|------|-----|-------------|------------------------|
| 市町村名 | 芸西村 | 素材名 関連素材 | ピーマン、ナス、花卉類、白下糖、和食ダムなど |
|------|-----|-------------|------------------------|

| | |
|-------|---|
| 現状・課題 | <p><現状> 村内は、施設園芸を中心とした農業が主要産業であり、ナス、ピーマン、花卉類の栽培が盛んな地域である。昭和40年代に村内山間部の集落から平野部に集団移転が行われ、ほとんどの山間部集落は廃止とされたが、北部の道家、久重の2集落には6世帯8人の住民が居住している。</p> <p><課題> わずかに残る中山間集落では、今後高齢化が進む中で行政からの支援が必要となってくる。また、村内生産物の付加価値を高めるための加工品製造や観光振興の取組を推進する必要があるが、担い手となる組織、人材の不足が課題となっている。</p> |
| | <p>今後の方向性 地域振興、観光振興における推進力の弱さやプレイヤー不足といった村内の課題解決を図るため、集落活動センター「げいせい」を拠点とし、村産品の加工品づくりや磨き上げ、観光資源の発掘や活用等に官民協働で取り組み、村の強みを活かし地域活性化を図る。</p> |

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

| | | |
|----|--------|--|
| 項目 | 取り組み名 | 集落活動センター「げいせい」(仮称)を拠点とした"小さくてももっと元気で輝くむら"づくり |
| | 関係市町村名 | 芸西村 |

| | | | | | | |
|-------------|---|---|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 事業の概要 | <p>村内で活躍する住民が集落活動センターを中心に集結し、村産品の加工品づくりや磨き上げ、観光資源の発掘や活用等に組み込むことにより、村の強みを活かし、地域活性化を図る。</p> | | | | | |
| | <p>【事業主体】芸西村、集落活動センター運営主体</p> <p>【関係機関】(有)かっぱ市、芸西村製糖組合等</p> | | | | | |
| 主な内容・スケジュール | 取組手順 | 事業実施 【H28】 | 1年後 【H29】 | 2年後 【H30】 | 3年後 【H31】 | 4年後 【H32以降】 |
| | ◆地域情報発信 | PR方法検討 → PRの実施 | | | | |
| | ◆観光協会機能 | 村内外のイベントへの出展・イベントの企画運営 | | | | |
| | ◆移住・定住サポート | 空き家掘り起こし → 移住相談会等への参加・情報発信 | | | | |
| | ◆特産品づくりと外商活動 | 加工施設の検討 → 加工施設の建設、運営、特産品開発 → 外商活動 | | | | |
| | ◆生きがいづくりと生活支援 | 調査・内容検討 → 活動の展開 | | | | |
| 指標・目標 | 項目 | 事業実施 【H28】 | 1年後 【H29】 | 2年後 【H30】 | 3年後 【H31】 | 4年後 【H32以降】 |
| | 【設定根拠】 | 【推計の考え方】 センターが立ち上がって事業が一定確定すれば、その時点で数値目標を設定する。 | | | | |
| | | 【考え方】 | | | | |

| | | | | | |
|-------|-----------------------------|---|------------|------|---|
| 総事業費等 | 総事業費 | 60,000 千円 | (うち28年度 | 千円) | |
| | (内訳 国: | 県:30,000 | 市町村:30,000 | その他: |) |
| 備考 | 想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他) | 国: 県:高知県集落活動センター推進事業費補助金 人的支援:集落活動センター推進アドバイザー等 | | | |
| | その他: | | | | |